

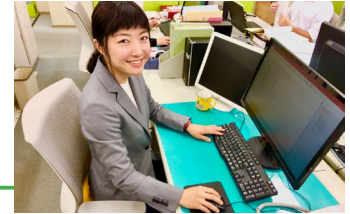
土木工学科卒業生の活躍

皆さんの先輩にあたる土木工学科卒業生のOB・OGは、社会の様々な分野で活躍しています。その業種は、国土政策から都市計画、まちづくり、構造物の設計など幅広く、さらに専門性に特化した仕事など多岐に渡ります。先輩達は皆、土木工学科で学んだ知識と大切な仲間のネットワークを活かし、情熱を持って日々の仕事に取り組んでいます。

富田 麻理子 さん

平成 27 年度 大学院修了

日本工営株式会社 流域水管理事業部 上下水道部



大学院卒業後、建設コンサルタントに入社して4年目になります。建設コンサルタントでは、自治体が抱えているインフラ施設の課題に対する具体的な解決策の提案や、施設の計画や設計を行っています。

私はこれまで、主に都市部で発生している浸水への対策計画の策定に携わりました。頻発しているゲリラ豪雨による浸水を解消するため、計算して図面を引くだけではなく、現象を



把握した上で雨水管の設計を行った事例もそのひとつです。雨水管内に急激に雨が流入すると、行き場を失った管内の空気の塊によってマンホールの蓋が押し上げられて飛散します（ニュース映像

等で見かけたことはありませんか）。この現象を防ぐために、コンサルタント業務では数値解析や模型実験を用いて現象を確認した上で、マンホール蓋が飛散しないような形状の図面を提案しました。

現在の職業に就いてよかったと思うことは、このように自分が考えた提案内容がその地域に活かされることです。建設コンサルタント業務の仕事は全て私達の生活に密着しています。それらの課題に対し、自分で考えた解決策を提案し、それが活かされることにとてもやりがいを感じます。私達の身の回りにある橋、堤防、ダム、上下水道…これら全ては土木構造物であり、私達の生活になくてはならないものです。1つ1つの構造物には、長いこと私達市民に愛され、安全に利用できるよう、技術者の考えや思いが込められています。私達の毎日の生活に欠かすことのできない土木工学について、一緒に学んでみませんか。

長井 耀太郎 さん

平成 27 年度 大学院修了

国土交通省 関東地方整備局 港湾空港部 港湾事業企画課



関東地方整備局港湾空港部に入省して、今年で4年目になります。これまで羽田空港や京浜港の整備事業に携わってきました。現在は、関東地方の各港湾の整備を行う際に、工事の設計資料や発注金額が適正かどうか審査する業務を担当しています。事業規模、予算規模が大きいので責任重大ですが、達成感も大きい仕事です。港湾空港部に入省して強く感じることは、島国である日本は港湾・空港が全ての基盤とも言える重要な存在であり、港湾・空港なくしては国が成り立たないということです。普段使っている電化製品、着ている服、食品など生活に必要なほとんどのモノが輸入品です。港湾・空港の整備は



皆さんの生活に直結していく重要な事業です。その中でも、関東地方整備局の事業規模は国の中で一番です。人口の1/3が集中する関東から国全体の経済成長や生活を支えています。“関東”地方整備局ですが、ライバルは“世界”の主要な港湾・空港です。こうしたビッグプロジェクトに携われることや国の発展のために貢献できることが、この仕事の魅力であり大きな醍醐味だと思います。

港湾・空港だけでなく、土木工学には道路、橋、上下水道、都市計画など様々な分野があります。日本大学理工学部土木工学科ではそれら多岐に渡る土木工学を学ぶことが可能です。さらに、人との出会いも多くあります。この業界で仕事をしていると、日本全国どここの自治体、企業でも卒業生が活躍しています。人との出会いを最大限に活かせるのは日大理工土木の強みです。卒業後、一緒に仕事ができることを楽しみにしています。

皆さんは、土木工学の分野で活躍しています。その業種は、国土政策から都市計画、まちづくり、構造物の設計など幅広く、さらに専門性に特化した仕事など多岐に渡ります。先輩達は皆、土木工学科で学んだ知識と大切な仲間のネットワークを活かし、情熱を持って日々の仕事に取り組んでいます。